

草刈りのたびに思う

私の家は、台地の中腹にある。家の前の道路先は、約15m位の高さの斜面をなし、下の団地の道路まで下がっている。

家の庭が狭いので、庭に植えきれない植物の一部、例えばユッカ・コデマリ・アジサイ・モモ・ビワ・イチヂクなどを、この斜面に植えている。もちろんここは、住宅供給公社の土地なので、草刈りは公社でやってくれるが、2回くらいしか回ってこない。

公社の草刈りにまかせておくと、これら植物は、ススキやクズに埋もれてしまう。それで私は、3週間おきくらいに、この斜面の草刈りをやる。

クズやススキは、刈ってもすぐ伸びてくるので、その生活力の旺盛さには、ほとんど頭を下げさせられる。この生活力の強さは、何に原因するのだろうか、草を刈りながら考えさせられる。

このような雑草は、適地に繁殖するので、その生育が旺盛なのであろうと思う。おそらく、これら植物の生態については、十分に研究されているのではあろうが、その生理についての研究はどうなのであろうか。

セイタカアワダチソウのように、他の雑草を駆逐して群落を作ってしまうような排他的？な特性は何に基因するのであろうか。斜面の草を刈りながら、これらの強勢雑草の生理を研究することで、何か雑草防除の新しい手がかりが、つかめないかなどと考えたりする。

〔 財団法人 日本植物調節剤研究協会理事 清水 茂 〕
〔 社団法人 日本施設園芸協会会長 〕

目 次

(第11巻第4号)

フィルムマルチ栽培あれこれ……………2

＜マルチ栽培研究会 石本正一＞

1. は じ め に……………2

2. わが国におけるフィルムマルチ栽培普及の実態……………2

3. フィルムマルチ栽培年譜……………3

4. マルチ用フィルム……………4

5. マルチ栽培研究会の生いたち……………5

6. 東北の畑水稻マルチ栽培の近況……………7

7. 落花生のマルチ栽培と東北畑作地帯への進出……………8

8. 園芸面での最近のマルチ栽培……………12

9. ま と め……………13

雑草の特異性一作物と対比して……………13

＜農事試験場畑作部 中山兼徳＞

1. 多産生である……………14

2. 脱粒性で熟期が不揃いである……………14

3. 自然発生で個体の生育が不揃いである……………15

4. 休眠性が特異である……………16

5. 発芽性が特異である……………17

東南アジアの雑草防除……………19

＜石原産業株式会社 高橋量平＞

昭和51年度秋冬作芝生関係除草剤・

生育調節剤試験成績概要……………23

＜財団法人日本植物調節剤研究協会＞

外国文献抄録……………25